

第20回

竹間沢
車人形
公演

公演復活50周年記念

百年以上前から三芳町に伝わる「竹間沢車人形」。
日本に、三芳町を含め三地域のみにしか現存していない、
貴重な伝統芸能です。

撮影：千代田路子 日高川入相恋王恋間路(2022)

2023年12月3日(日) 開演13:30
(開場13:00)

コピスみよし(三芳町文化会館)ホール

演目 かなでほんちゅうしんぐら あしやどうまん おおうちかがみ
仮名手本忠臣蔵／蘆屋道満大内鑑
寿式三番叟／車人形教室

出演 竹間沢車人保存会(人形遣い)、三代目若松若太夫(説経節)、竹本越孝(義太夫)、鶴澤駒治(三味線)

全席自由席 【一般】1,200円 【小中学生】300円 ※障がい者手帳割引、団体割引(10名以上～)があります。
詳細はお問い合わせください。

お問合せ コピスみよし(三芳町文化会館) ☎049-259-3211

チケット
好評
発売中

三芳町芸術文化推進プログラム

主催：埼玉県 埼玉県教育委員会 三芳町 三芳町教育委員会 コピスみよし(三芳町文化会館) 埼玉県芸術文化祭実行委員会 埼玉県芸術文化祭三芳町実行委員会
企画制作：トールツリー(株式会社ケイミックスパブリックビジネス)



Traditional Performing Art of Miyoshimachi
The 20th Chikumazawa Kuruma Ningyo Puppetry
Sun.3 Dec. 2023 START 13:30 OPEN 13:00

Admission: [Adult] 1,200yen [Junior high school student] 300yen *Preschool children not allowed to enter

Contact us:Coppice Miyoshi(Miyoshimachi Cultural Center) +81(0)49 259 3211

Kuruma Ningyo is a form of puppet theatre. The puppeteer sits on a small seat with roller wheels(rokuro kuruma) and operates the puppets(ningyo). This kind of arts is inherited to only in 3 areas in Japan, including Miyoshimachi.

イベントのPRやアーティストバンク、ホール案内などの芸術文化の情報が満載! 三芳町芸術文化ポータルサイト「MAPS」 三芳町 芸術



竹間沢車人形公演復活から50周年＝ 物語は次の時代へと語り継がれる

車人形とは？

車人形は、ろくろ車(箱車)に乗った人形遣いが、1人で1体の人形を遣う人形芝居です。

この人形は3人遣いの文楽と同じ大型のもので、1人遣い用へ工夫が施されています。特に、車輪のついた小さなろくろ車に乗って移動をおこなうことで、大型の人形を1人で操れるようになります。

東京を中心として江戸時代に広がった車人形は、現在三芳町の他に東京・八王子市と奥多摩町の3地域のみ現存する貴重な芸能です。

明治時代に全盛期を迎えた後、一度途絶えた竹間沢車人形は今年復活公演から50周年を迎えました。

寿式三番叟

寿式三番叟は、舞台を清める舞で、その日の舞台を無事に務めあげられますようにと願いを込めて、舞台の幕開けに舞います。

仮名手本忠臣蔵

三段目より「殿中松の廊下刃傷の段」「裏門の段」

江戸時代中期頃に起きた、元禄赤穂事件を題材とし、今もなお歌舞伎をはじめとした多くの芸能を通して親しまれる本作その敵討ちの物語は、人間ドラマとして現代の私達にも通じるものがあり、登場人物一人一人に興味を持つことのできる作品です。すべてで十一段ある大作の中から、特に人気のある三段目「殿中刃傷の段」「裏門の段」を竹間沢車人形の形でお送りします。盛り上がりどころが満載で、初めて古典芸能をみる方に、ぜひ、おすすめしたい演目です。

車人形教室

車人形の構造や操り方をわかりやすく解説します。解説中、お客様を代表して実際に舞台上で車人形を操作していただく方を募集します。
※詳しくはコピスみよしホームページをご覧ください。

蘆屋道満大内鑑

あべのせいめい たんじう ひわくす
安倍晴明誕生秘話葛の葉物語

阿倍野の里「隠遁保名機屋の段」

「恋しくば 尋ね来てみよ 和泉なる 信太の森の恨み葛の葉」の歌で有名な本作。

親子の絆を強く描いた本作では、さまざまな母と子・父と子の姿が描かれます。

親子や夫婦間の「相手を想う心」が物語の鍵となり、観劇されるみなさまの心に必ず訴えかけることのできる作品をお届けいたします。

コピスみよしでは、過去二回上演歴があり、竹間沢車人形としても大変愛されている本作品。劇中、とある登場人物にもご注目ください。

竹間沢車人形保存会



竹間沢車人形は、竹間沢村の神楽師前田左近が江戸の末期から明治にかけて、吉田三芳の芸名で「吉田三芳一座」として、小さな人形を使った人形芝居から車人形に切り替え、自ら車人形の頭や道具を作り、盛んに興行をおこなった人形芝居です。その後、息子の前田民部によって継がれましたが、大正時代になり浪曲、映画などに押されて衰退し、大正十年頃に興行が途絶えてしまいました。再び脚光を浴びたのは、昭和四十六年に埼玉県教育委員会が実施した、人形芝居用具緊急調査がきっかけです。前田家の納戸から車人形が発見され、昭和四十七年、五十年ぶりに復活公演が実現しました。それから半世紀にわたり、保存会は竹間沢車人形を守り継いでいます。

説経節 三代目 若松若太夫



説経師。日本大学芸術学部文芸学科非常勤講師。一九八九年、二代目若松若太夫の公演を聴き、感動を受け入門。一九九八年、三代目若松若太夫を襲名。二〇〇〇年、東京都指定無形文化財(芸能)保持者、板橋区登録無形文化財(説経浄瑠璃)保持者にそれぞれ認定される。

義太夫 竹本越孝



一九七二年竹本越道前義太夫節保存会会長)入門一九七四年上野本牧亭で初舞台。一九九四年清栄会奨励賞、一九九八年豊澤仙廣賞受賞。二〇〇〇年重要無形文化財義太夫節(総合指定)保持者認定。二〇一九年伝統文化ホールラ賞優秀賞受賞。二〇二〇年第七十五回文化庁芸術祭音楽部門優秀賞受賞。「竹本越孝太夫と初めの素浄瑠璃海外公演(二〇〇七年フランス)をはじめ海外公演多数。「竹本越孝きだう塾 塾孝房」主宰。(一社)義太夫協会理事。

三味線 鶴澤駒治



一九八三年鶴澤駒登久に入門。一九八五年本牧亭で初舞台。一九九〇年義太夫協会新人奨励賞受賞。一九九〇年「九三年」までこの会「主催」。

プレイガイド コピスみよし(三芳町文化会館) …… 049-259-3211
三芳町立中央図書館 …… 049-258-6464

コピスみよしオンラインチケットサービス
三芳町歴史民俗資料館 … 049-258-6655



※未就学児童はご入場いただけません。 ※写真撮影、ビデオ録画、録音は固くお断りいたします。 ※ご予約後のキャンセル、チケット代金の払い戻しは承れません(公演中止の場合を除く)。 ※車いす席・親子室・聴覚支援システムのご用意がございます。詳細はお問合せください。



会場へのアクセス

- ・最寄り駅: 東武東上線「鶴瀬」または「みずほ台」駅 (「池袋」駅から約30分)
- ・バス: 【開演前】「鶴瀬」または「みずほ台」駅からライフバス(片道220円、現金のみ、交通系ICカード使用不可)が運行しています。駅より約10分「三芳役場」下車。時刻例 鶴瀬駅西口発 ⑫12:40 ⑬12:55 ⑭13:00 ※丸数字は路線番号【終演後】鶴瀬駅西口行のシャトルバス(無料)を運行予定。
- ・タクシー: 「鶴瀬」または「みずほ台」駅より約10分 ・車: 関越自動車道「所沢J.C.」より約15分 ※駐車場あり(250台収容/無料)

お問い合わせ コピスみよし(三芳町文化会館) 049-259-3211 (9:00~21:30)
埼玉県入間郡三芳町藤久保1100-1 休館日: 月曜日(月曜祝日の場合は翌火曜日)